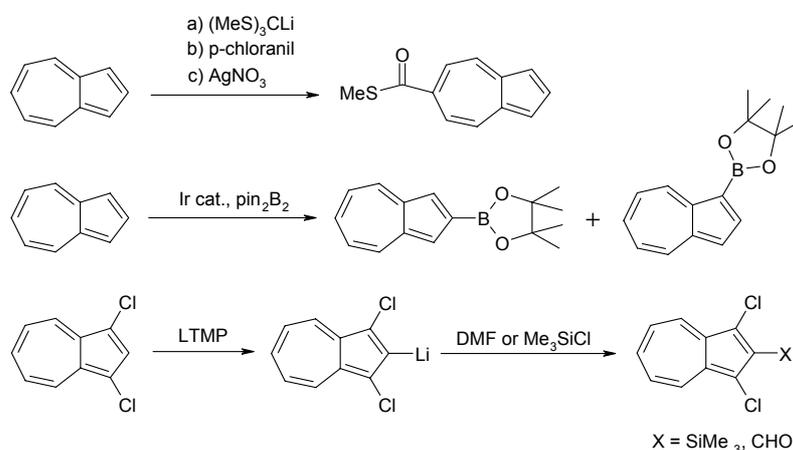


メタル化によるアズレン類の効率的変換法の開発

Development of an efficient methodology for the transformation of azulenes based on the metalation

藤永雅之・黒飛敬・村藤俊宏・杉原美一（山口大理生物・化学科）
Masayuki Fujinaga, Kei Kurotobi, Toshihiro Murafuji, and Yoshikazu Sugihara
(Department of Chemistry, Faculty of Science, Yamaguchi University)

アズレンでは、その分極構造のために 1,3 位で求電子置換反応が進行する。また、求核付加反応が 4,6,8 位で起こるが、4,8 位での付加が 6 位を優先する。このようにアズレンの反応部位は非常に限られており、このことが置換アズレンの合成を困難にして来た。しかし、近年、当研究室では、リチオ化やボリル化を用いてアズレンの反応不活性部位に置換基を直接導入する方法を見出している。本発表では、アズレン誘導体の効率的な変換反応について報告する。



<参考文献>

- (1) K. Kurotobi, K. Takakura, T. Murafuji, Y. Sugihara, *Synthesis*, **2001**, 9, 1346.
- (2) K. Kurotobi, H. Tabata, M. Miyauchi, A. F. M. Mustafizur Rahman, K. Migita, T. Murafuji, Y. Sugihara, H. Shimoyama, K. Fujimori, *Synthesis*, **2003**, 1, 30.
- (3) K. Kurotobi, M. Miyauchi, K. Takakura, T. Murafuji, Y. Sugihara, *Eur. J. Org. Chem.*, **2003**, 3663.

発表者紹介

氏名 藤永 雅之（ふじなが まさゆき）

所属 山口大学大学院 医学系研究科 応用分子生命科学系専攻

学年 D1

研究室 機能有機化学 杉原研究室

E-mail a033dd@yamaguchi-u.ac.jp

